



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 サンコール株式会社

コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山主 千尋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務・管理部門長

(氏名) 杉村 和俊

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	9,137	△1.6	499	△29.0	80	△90.8	0	△99.9
28年3月期第1四半期	9,286	11.0	702	7.3	870	30.2	562	23.5

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 △744百万円 (△203.9%) 28年3月期第1四半期 715百万円 (69.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	0.01	0.01
28年3月期第1四半期	17.73	17.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第1四半期	42,749	32,011	74.5	1,003.83
28年3月期	43,048	33,073	76.5	1,037.59

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 31,869百万円 28年3月期 32,927百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	18,400	0.1	750	△37.2	450	△65.3	250	△69.0	7.88
通期	39,000	6.2	2,000	△5.4	1,700	11.6	1,100	5.5	34.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	34,057,923 株	28年3月期	34,057,923 株
29年3月期1Q	2,310,458 株	28年3月期	2,323,396 株
29年3月期1Q	31,741,751 株	28年3月期1Q	31,713,306 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

《全般的概要》

[経営及び事業環境]

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境は引き続き堅調でしたが、個人消費の伸び悩み、円高や株安傾向となったほか震災等の影響により弱含みで推移しました。

一方、世界経済では、米国においては輸出の悪化等はありませんでしたが個人消費を中心に底堅く推移し、欧州においては雇用環境の改善を背景に個人消費が回復基調を支えました。アジア経済においては、中国が輸出や民需の低迷等により軟調でしたが、タイやベトナムでは外需が成長を牽引しました。

当社グループの主な事業領域である自動車業界は、国内市場の販売台数は乗用車では前年同水準を維持したものの、軽自動車は前年割れとなりました。一方、世界市場は米国では主に商用車やトラックが販売を牽引し、中国では小型車減税の効果もあり堅調な自動車需要が継続しました。

[連結業績]

このような環境の下、当社グループの売上高は海外子会社における好調な自動車関連製品が売上を牽引しましたが、日本からの精密機能材料の輸出販売の減少やプリンター市場が低迷し関連製品の需要が減少したため、前年同水準の91億37百万円となりました。

利益面では、メキシコ子会社での量産体制に向けた費用が増したことや円高によりHDD用サスペンションの輸出採算性が悪化したこと等により営業利益は4億99百万円（前年同期比29.0%減）となりました。また、円高が急進したこと等により為替評価損が膨らみ経常利益は80百万円（同90.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は0百万円（同99.9%減）となりました。

《セグメントの業績》

[日本]

日本セグメントでは、輸出販売においては為替環境が不利となったことに加えて、旺盛な需要がある弁ばね材の生産の一部を中国へ移管し日本の過操業を是正した影響がありましたが、設備販売の増加等もあり売上高は前年を上回りました。利益面では、主に輸出販売の採算悪化等により減益となりました。

結果として、日本セグメントの売上高は67億81百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は4億55百万円（同29.3%減）となりました。

[北米]

北米セグメントでは、米国子会社の自動車関連のエンジン用やミッション用の部品が順調な需要を維持し、光通信部品販売も安定して推移したことで増収となりましたが、利益面ではメキシコ子会社で量産体制に向けた費用が増加しました。

結果として、北米セグメントの売上高は12億98百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント損失は33百万円（前年は20百万円のセグメント損失）となりました。

[アジア]

アジアセグメントでは、タイ及び中国子会社のエンジン用部品販売が伸長し、中国子会社での弁ばね材販売も順調に推移しました。一方、香港及びベトナム子会社のプリンター関連製品では市場の低迷から顧客の需要が大幅に減少し売上高は前年を下回りました。

結果として、アジアセグメントの売上高は21億98百万円（前年同期比2.9%減）、セグメント利益は採算性の高い製品の販売増加や原価改善等により2億80百万円（同20.8%増）となりました。

《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減	
	自平成27年4月1日 至平成27年6月30日		自平成28年4月1日 至平成28年6月30日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	1,123	12.1	1,045	11.4	△78	△7.0
精密機能部品	5,387	58.0	5,660	61.9	272	5.1
自動車関連部品	6,511	70.1	6,705	73.3	194	3.0
サスペンション	1,217	13.1	1,170	12.8	△47	△3.9
プリンター関連	1,083	11.7	737	8.1	△346	△31.9
デジトロ精密部品	448	4.8	498	5.5	49	11.0
電子情報通信関連部品	2,749	29.6	2,405	26.4	△344	△12.5
その他製品	25	0.3	26	0.3	0	3.7
合計	9,286	100.0	9,137	100.0	△148	△1.6

[精密機能材料]

精密機能材料は、旺盛な弁ばね材需要に対して中国での生産販売を推進したものの、日本の過操業の是正に伴う輸出版売減少の影響等により売上高は10億45百万円（前年同期比7.0%減）となりました。

[精密機能部品]

精密機能部品は、日本国内では前年同水準、海外子会社ではエンジン用部品を中心に販売が好調となり、売上高は56億60百万円（前年同期比5.1%増）となりました。

[サスペンション]

HDD用サスペンションは、HDD需要が一時期の落ち込みから回復途上にありますが、円高進行が輸出採算性の悪化の要因となり、売上高は11億70百万円（前年同期比3.9%減）となりました。

[プリンター関連]

プリンター関連製品は、タイ子会社ではムクローラーが販売を伸ばしたものの、香港及びベトナム子会社では主に市場低迷による顧客の需要減少の影響が大きく、売上高は7億37百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

[デジトロ精密部品]

デジトロ精密部品は、光通信部品の販売が前年度までの低迷した状況から持ち直し、プローブピン等のOA機器用の精密部品も堅調に推移したことから、売上高は4億98百万円（前年同期比11.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

[資産]

総資産は427億49百万円（前年度比2億99百万円減）となりました。これは主に、機械装置及び運搬具等の有形固定資産が1億22百万円、現金及び預金が3億48百万円増加した一方、仕掛品等のたな卸資産が3億60百万円、投資有価証券が株価下落により5億12百万円減少したこと等によります。

[負債]

負債は107億37百万円（前年度比7億62百万円増）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億2百万円、賞与引当金が1億89百万円減少したことに対し、流動負債の「その他」に含まれる未払金が設備投資等により3億51百万円、長期借入金が7億77百万円増加したこと等によります。

[純資産]

純資産は320億11百万円（前年度比10億61百万円減）となりました。これは主に、利益剰余金が配当により3億17百万円減少したほか、その他有価証券評価差額金が3億34百万円、為替換算調整勘定が4億15百万円それぞれ減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期の業績につきましても、現時点では、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,616	7,964
受取手形及び売掛金	7,492	7,465
商品及び製品	1,639	1,516
仕掛品	1,694	1,511
原材料及び貯蔵品	1,602	1,548
その他	901	1,050
流動資産合計	20,947	21,056
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,165	5,029
機械装置及び運搬具（純額）	6,431	6,930
その他（純額）	4,495	4,254
有形固定資産合計	16,092	16,214
無形固定資産	332	318
投資その他の資産		
投資有価証券	4,818	4,305
その他	858	855
投資その他の資産合計	5,676	5,160
固定資産合計	22,101	21,692
資産合計	43,048	42,749
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,052	3,950
短期借入金	141	134
1年内返済予定の長期借入金	102	96
未払法人税等	103	69
役員賞与引当金	—	5
賞与引当金	394	204
その他	2,955	3,407
流動負債合計	7,749	7,868
固定負債		
長期借入金	307	1,085
退職給付に係る負債	766	764
その他	1,151	1,019
固定負債合計	2,225	2,868
負債合計	9,975	10,737

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,743	2,741
利益剰余金	23,341	23,024
自己株式	△891	△886
株主資本合計	30,002	29,688
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,069	1,735
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	729	313
退職給付に係る調整累計額	126	130
その他の包括利益累計額合計	2,925	2,180
新株予約権	145	142
純資産合計	33,073	32,011
負債純資産合計	43,048	42,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,286	9,137
売上原価	7,469	7,492
売上総利益	1,817	1,645
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	175	212
報酬及び給料手当	304	305
役員賞与引当金繰入額	4	5
賞与引当金繰入額	46	48
退職給付費用	20	22
その他	563	551
販売費及び一般管理費合計	1,114	1,146
営業利益	702	499
営業外収益		
受取配当金	63	57
物品売却益	20	13
為替差益	76	—
その他	10	35
営業外収益合計	170	106
営業外費用		
支払利息	1	9
持分法による投資損失	—	22
為替差損	—	487
その他	1	6
営業外費用合計	2	525
経常利益	870	80
特別利益		
その他	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産廃棄損	5	2
関係会社投資損失引当金繰入額	24	—
特別損失合計	31	2
税金等調整前四半期純利益	838	77
法人税、住民税及び事業税	166	90
法人税等調整額	109	△13
法人税等合計	276	76
四半期純利益	562	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	562	0

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	562	0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	284	△334
繰延ヘッジ損益	0	1
為替換算調整勘定	△131	△405
退職給付に係る調整額	△0	4
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△9
その他の包括利益合計	153	△744
四半期包括利益	715	△744
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	715	△744
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記)

前第3四半期連結会計期間より、関連会社KOBELCO SPRING WIRE (FOSHAN) CO., LTD. は、親会社株主に帰属する四半期純利益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）が連結財務諸表に及ぼす影響に重要性が増したため持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	5,955	1,187	2,144	9,286	—	9,286
セグメント間の内部売上高又は 振替高	562	3	121	686	△686	—
計	6,517	1,190	2,265	9,973	△686	9,286
セグメント利益又は損失 (△)	644	△20	231	856	△153	702

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△153百万円には、セグメント間取引消去△0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△153百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	5,793	1,298	2,045	9,137	—	9,137
セグメント間の内部売上高又は 振替高	987	0	153	1,141	△1,141	—
計	6,781	1,298	2,198	10,278	△1,141	9,137
セグメント利益又は損失 (△)	455	△33	280	702	△203	499

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△203百万円には、セグメント間取引消去△40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

	米国	中国	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,168	1,378	2,771	5,318
II 連結売上高（百万円）				9,286
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	12.6	14.8	29.8	57.3

当第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

	米国	中国	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,290	1,190	2,664	5,145
II 連結売上高（百万円）				9,137
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	14.1	13.0	29.2	56.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 米国……………米国

(2) 中国……………中国

(3) その他の地域……韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、
シンガポール、フィリピン、ブラジル、メキシコ、ドイツ、スイス

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。